

## 兼任教員情報公開用（最近5年間の主な業績等）

2018年

氏名	申 惠 丰	担当科目	国際人権法
<b>学 位</b>			
1995年11月	法学博士 東京大学		
<b>主 な 学 歴</b>			
年 月	事 項		
1988年3月	青山学院大学法学部公法学科 卒業		
1990年3月	東京大学大学院法学政治学研究科修士課程 修了		
1990年4月	東京大学大学院法学政治学研究科博士課程 入学（1991年7月 休学）		
1991年9月	国際高等研究所（スイス・ジュネーブ）修士課程 入学		
1993年7月	国際高等研究所（スイス・ジュネーブ）修士課程 修了		
1995年11月	東京大学大学院法学政治学研究科博士課程 修了		
<b>主 な 職 歴・経 歴</b>			
年 月	事 項		
1995年4月	日本学術振興会特別研究員（～1996年3月）		
1996年4月	青山学院大学法学部 専任講師（～1997年3月）		
1997年4月	青山学院大学法学部 助教授（～2007年3月）		
2007年4月	青山学院大学法学部 教授（～現在に至る）		
2017年4月	パリ第二大学（パンテオン＝アサス）人権人道法研究センター招聘研究員（～2018年3月）		
<b>最近5年間の主な業績等</b>			
年 月	事 項		
	<p>【所属学会】 世界法学会（理事）/国際人権法学会（理事長）/アジア国際法学会</p> <p>【社会活動】</p>		
2015年9月	日本弁護士連合会シンポジウム「活用しよう！社会権規約—日本政府報告書審査総括所見をふまえて」基調講演「社会権規約の意義と委員会の総括所見—国内におけるフォローアップの重要性」		
2015年9月	衆議院院内集会「STOP HATE SPEECH!—今こそ人種差別撤廃基本法の実現を」講演「国際人権法から見た人種差別撤廃基本法の必要性」		
2015年10月	法務省入国管理局関係職員人権研修「国際人権規範の遵守と入管業務—外国人の人権・女性の人権を中心に」第28回人権啓発東京講座講演「国際男女平等ランキングで日本はなぜ105位なのか—女性差別撤廃条約と日本の課題」		
2015年10月	“International Human Rights Norms and Process”, Lecture at the Seoul National University, Human Rights Centre, Winter Course “Human Rights and Asia 2016”		
	【著書】		
2016年1月	『国際人権法—国際基準のダイナミズムと国内法との協調 [第2版]』（信山社）（単著）		
	【論文】		
2014年	“Assessing Adequacy of Measures for the Realization of Social Rights without Discrimination : Contributions of the Jurisprudence of the European Committee of Social Rights”, Ch. Mestre, C. Sachs-Durand et M. Storck (dir.), Le travail humain au cassefour du droit et de la sociologie (Presses universitaires de Strasbourg)		
2014年	「人権保障のための積極的義務としての手続的義務—人権侵害に対する実効的な調査義務をめぐる法理の展		

2016 年	開」(国際法外交雑誌 112 巻 4 号) 「生活保護老齡加算制度の一律廃止の合法性—社会権規約に照らして」(国際人権 27 号)
(参考 : 外部リンク) プロフィール URL	
	<a href="http://raweb1.jm.aoyama.ac.jp/aguhp/KgApp?kyoinId=yimiigyiggy">http://raweb1.jm.aoyama.ac.jp/aguhp/KgApp?kyoinId=yimiigyiggy</a>